

第6学年 道徳学習指導案

1 総合単元名 のびる自分を見つめて

2 総合単元設定の理由

(1) 総合単元について

小学校最高学年である子どもたちは今、思春期の入り口に立っている。体は次第に大人となっていくが、精神面では、大人と子どもの間を絶えず揺れ動き、体と心のアンバランスにとまどいを感じることもある。そこで、6年生としてしっかりと自分を見つめることで、よりよく生きようとする力を身に付けることができるよう「自分を見つめる」ということをキーワードに本総合単元に取り組むことにした。

1学期の総合単元では、自分には自分のよさがあることを発見し自己実現を図ることにした。そして2学期には、自分のよさをさらにのびしながら、個を確立し集団の中で活躍できる力を身に付けさせたいと考えた。人は決して一人で生きていけるものではなく、回りの人に生かされている。1学期から育てている自分のよさは、友達・家族・地域の人々等の関わりの中でのびていく。のびる自分を常に意識し回りに働きかけることで自己実現は可能となる。また反対に、集団がスムーズに機能していくには、一人一人が、自分の役割を果たすことが大切だと考えられる。一人一人が自己の可能性を実現していくことが、集団を維持し発展することになると考えられる。人間は社会の中でのみ、人間として成長すると言われる。2学期には、集団の中で自分を大きくのびし、生きる喜びを体得してほしいと考えた。

6年生の子どもたちは、素直で明るく、集団での自分の役割を一生懸命果たしてきている。学校では、教師などの大人や同級生・下級生との関係の中で、うめの子班・児童会・委員会活動を自分と向き合いながら頑張っている。また、地域の人々の中では、「北村公園」の清掃や老人保健施設「敬愛の家」訪問などでもリーダーとして活動している。しかし、郷土や国の一員としての自覚は、まだ十分ではない。

また、家庭の中ですすすくと育てられ、徐々に家庭以外の集団の中で羽ばたいていこうとしている。保護者は、子どもたちが、回りの人の支え合いや助け合いによって成り立っていることに感謝し、より高い目標をもち自分の役割を自覚しながら生きていくことを願っている。これらの願いは、自分の今の生活圏やさらに広げられた社会集団の中で実現していくと考えられる。(アンケート「子どもにどのような道徳性を身に付けさせたいか」より)

そこで、自分をしっかり見つめ、感謝の心を持ち、自他を大切に、自己実現をしながら、社会でのびていく人になってほしいと考えた。また、学校や地域において、今までの北島北小学校の卒業生や地域の人々が培ってきたものを大切にしながら、自分たちの歩みを次にもつなぎ、よりよい社会をつくっていく努力のできる人になってほしいと考え、本総合単元「のびる自分を見つめて」を設定した。

(2) 単元構成について

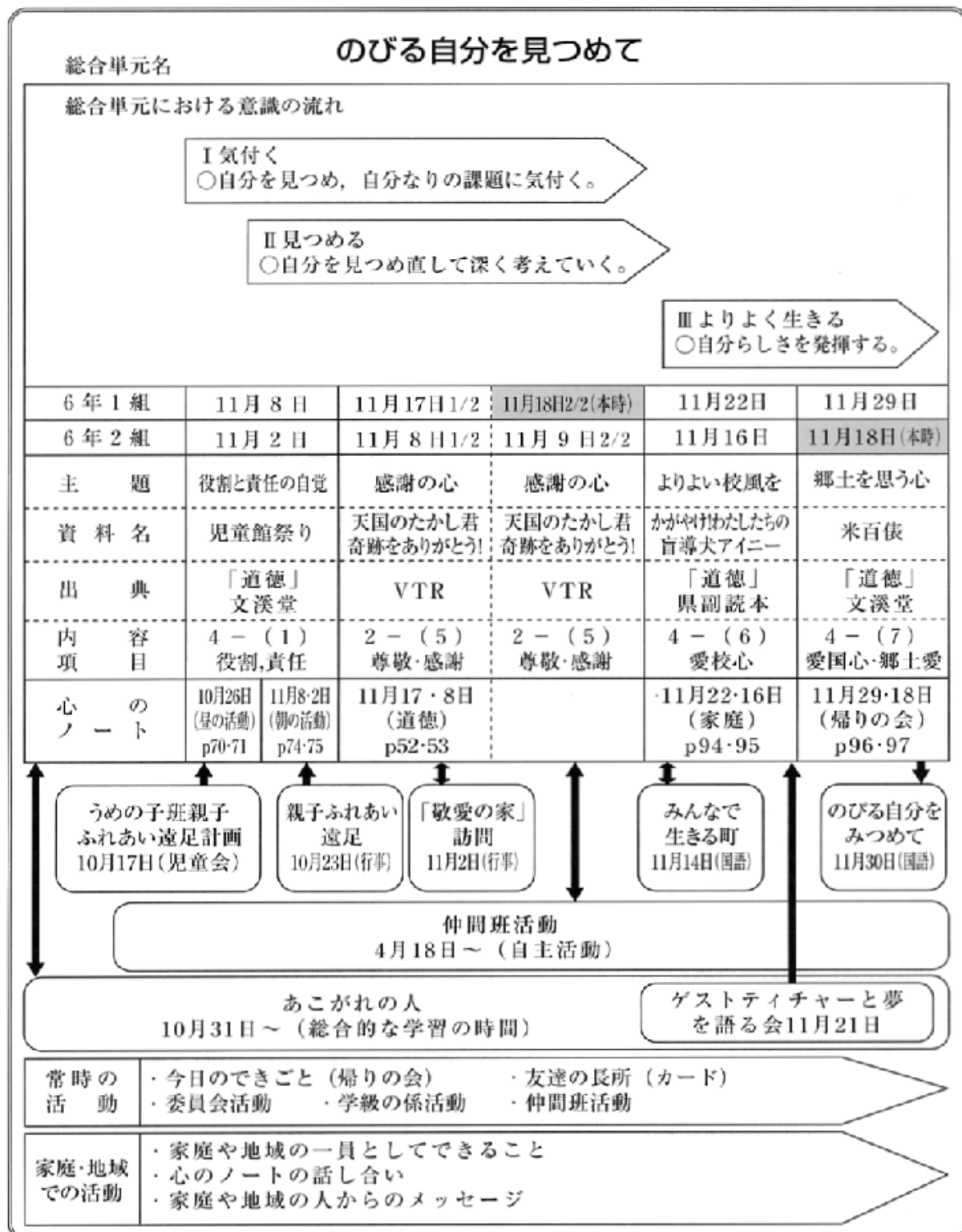
6学年の重点目標は、「働くことの意義や奉仕することの喜びを知って、よりよい学校や社会をつくる」である。また、高学年として「自然の偉大さや生命の尊厳を理解し、人間の力を越えたものへの畏敬の念をもつ」という目標もある。最高学年として、中学生になることを意識し、大人への一歩を踏み出そうとするこの時期に、自分自身を高めようとする気持ちや態度を育てることから、1学期の総合単元は、「自分を見つめて」とした。2学期には、より広い視野から、集団の一員として身に付けてほしい力を考え、総合単元「のびる自分を見つめて」を設定した。3学期には、卒業に向け、生命の尊厳を理解し、人間の力を越えたものへの畏敬の念をいだきながら、生き方を見つめる「生きる自分を見つめて」を設定している。

本単元では、内容項目4-(1)役割・責任、4-(6)愛校心、4-(7)愛国心・郷土愛に重きをおき展開していくことにした。これらの内容項目は、すべて尊敬・感謝が基盤となっている。そこで、内容項目2-(5)尊敬・感謝を入れることによって、深めていきたい。単元を展開する過程で、親子ふれあい遠足・ゲストティーチャーを招いての体験活動や地域の「北村公園」清掃活動・老人保健施設「敬愛の家」訪問などの家庭・学校・地域での活動によって大事に培ってきた尊敬・感謝の心を、道徳の時間にさらに深めていきたい。そして、本単元の最後には、仲間班などの自主活動によって、しっかりと自分を見つめ、より高められた実践へと発展していくことを期待している。

3 総合単元の目標

奉仕する喜びを知り、責任感と創造性をもって自主的によりよい学校や社会をつくらうとする態度を養う。

4 学習計画



子どもの意識・実践の様子・評価

—— 道徳の時間 ~~~~~ 心のノート
 —— 教科等 常時 ===== 体験活動 ○めあて ●評価

	子どもの意識	学校・家庭・地域で生かす
I 気 付 く	心のノート（昼の活動） 10月26日 「社会によりよい風を吹かそう」 p 70・71 ○社会の中で自分をのばそう。 ・自分にできることは何かな。 ・自分を変えていこう。 ・変わっていけるはずだ。 ・6年生として、求められていることは何かな。 ・自分を大きくのばしていこう。 ●どんなにしていきたいか、というめあてがもてたか。	
	「あこがれの人」（総合的な学習の時間） 10月31日 ○社会の中に生きる、なりたい自分をイメージしてみよう。 ・あこがれる人は、たくさんいるな。 ・どんな信念をもっていたのだろうか。 ・自分には、どんな努力がいるのだろうか。 ●自分の心のなかに未来についてのイメージをもつことができたか。	「うめの子班親子ふれあい遠足の計画」（児童会）10月17日 ○リーダーとしての自覚をもち、みんなで協力して活動する。 ・班長として責任を持ってみんなと一緒にいきたいな。 ・みんなと協力したいな。 ●リーダーとして異学年の仲間と楽しく活動できたか。
	資料名「児童館祭り」（道徳） 1組 11月8日 2組 11月2日 ○自分の役割を自覚し、常に責任をもって仕事をしようとする意欲を高める。 ・責任感をもって自分の役目を果たすことはとても大変なことなんだな。 ・最後までやり通さないといけないんだな。 ・適切な判断と処置がいるんだな。 ・最後まで責任をもったから、成就感が得られるんだな。 ●自分の役割を自覚し、最後まで責任を果たそうとする意欲を高めることができたか。	「親子ふれあい遠足」（行事）10月23日 ○最後の親子ふれあい遠足を成功させよう。 ・小さい子のお世話は、結構楽しいな。 ・こうやって歩いてみると、北鳥町って自然がいっぱいあるなあ。 ・自分の役割をきちんと果たせるって、気持ちのいいものだな。 ・今までの親子ふれあい遠足の中で、大変だったけど一番楽しかったな。 ●うめの子班みんなのことを考えて行動できたか。
II 見 つ め る	心のノート（朝の活動） 11月8日・2日 「集団の中でかがやく自分」 p 74・75 ○そこにおいて良かったと思える集団について考えよう。 ・自分が果たしている役割はどんなものだろう。 ・クラスや学校生活をよりよいものにするため、自分にはどんなことができるだろう。 ・一人一人が主役なんだな。 ●一生懸命、心のノートに向かうことができたか。	1年生と共に「敬愛の家」訪問（行事）11月2日 ○1年生と共に、地域のお年寄りと交流しよう。 ・練習も自分たちの力でがんばってしたよ。 ・1年生もよく頑張っているな。 ・「敬愛の家」訪問も小学生としては最後になるな。 ・お年寄りの方に喜んでもらえるよう精一杯がんばろう。 ・もっとやれることはないかな。 ●お年寄りを大切にしようという気持ちをもって活動することができたか。
	心のノート（道徳） 11月17日・8日 「あなたがいるからすばらしい」 p 52・53 ○感謝しそれにこたえよう。 ・学校や地域のために、自分のできることをやってみよう。 ・何か小さなことでもいいからやってみよう。 ・活動するためには、責任感があるな。 ・家庭でもできることがあるはずだ。 ・自分から進んでできることを考えてみよう。 ●家の人と話することができたか。	

資料名「天国のたかし君奇跡をありがとう！」

(道徳) 1組11月17日・18日(本時)
2組11月8日・9日

- 自分たちの生活が、人々の愛情や支え合い、助け合いの中で成り立っていることに感謝し、強く生きようとする意欲を高める。
 - ・誰かの役に立ちたいという気持ちは、同じだな。
 - ・いろいろな人たちで支え合っているんだな。
 - ・自分にも、人のためにできることがあるな。
- いろいろな人と支え合いながら生活していくことの大切さに気付くことができたか。

資料名「かがやけ！わたしたちの盲導犬アイニー」(道徳)

1組 11月22日
2組 11月16日

- 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。
 - ・みんなで力を合わせたから、できたことだな。
 - ・地域の人たちの協力があつたからできたんだな。
 - ・自分たちの活動は、家庭や地域の人たちをも動かすことができるんだな。
 - ・自分も学校のために、もっと何かできることをしたいなあ。
 - ・今の活動を引き継いでもらえるよう、さらに頑張らないといけないな。
- 学校の一員として自覚をもち、よりよい校風をつくろうとする気持ちをもてたか。

「夢を語る会」(総合的な学習の時間)

11月21日

- ゲストティーチャーと語ろう。
 - ・自分の夢をもつっていいなあ。
 - ・夢を達成するには多くの努力がいるんだな。
 - ・自分も夢が達成できたらいいな。
 - ・自分をしっかり見つめよう。
- 自分の夢をもつことができたか。

資料名「米百俵」(道徳)

1組 11月29日
2組 11月18日(本時)

- 郷土の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土を愛する心をもとうとする心情を育てる。
 - ・努力をしないと、よりよくなっていかないんだな。
 - ・誰もが郷土を大切にしてきたから、今の自分があるんだな。
 - ・未来のことも考えないといけないな。
 - ・自分たちも郷土をつくっていくんだな。
- 今の自分たちがあるのは、先人の郷土を思う気持ち、また、誇りをもった血のにじむ努力があつたことに気付くことができたか。

心のノート(帰りの会)

11月29日・18日

- 「見つめよう私のふるさとそしてこの国」 p96・97
- 郷土や日本について見直そう。
 - ・学校、家庭、社会のためにやろうと決めたことができたときは、うれしかった。
 - ・なかなかできないこともあつた。
 - ・新しいめあてをもって、がんばっていきたい。
 - 郷土や国のよさについて、家の人と話をすることができたか。

「みんなで生きる町」(国語) 11月14日

- 暮らしをよりよいものにするために、共に考えよう。
 - ・みんなの願いがあるんだな。
 - ・自分と社会のかかわりを見つめよう。
 - ・よりよい暮らしのための提案をしよう。
 - ・多くの人と、共に考えていこう。
- 一人一人ができることを、共に考えることができたか。

心のノート(家庭) 11月22・16日

「校風をつくるのは私たち」 p94・96

- 校風を守っていこう。
 - ・多くの先輩たちが培い、私たちが受け継いでいくんだな。
 - ・私たちが育てていくんだな。
 - ・私たちの学校にできることを考えていこう。
 - ・自分たちにしっかりとした自覚が必要だな。
 - ・よりよい校風を後輩たちにも、受け継いでいかないといけないな。
- 学校のことについて家の人と話をすることができたか。

「仲間班活動」(自主活動)

- 北島北小学校をよくしよう。
 - ・先輩達の伝統を守って行こう。
 - ・廊下の通り方を呼びかけよう
 - ・下学年の人たちと業間に楽しく遊ぼう。
 - ・あいさつ運動をしよう。
 - ・トイレのスリッパを並べよう。
- 自主的に活動できたか。

「のびる自分を見つめて」(国語)

11月30日

- 集団の中の自分を見つめ直し、作文を書く。
 - ・自分はどのように変わっただろう。
 - ・これからの自分を考えよう。
- 自分を見つめることができたか。

(1) 主 題 名 感謝の心

(2) 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

2-(5)	日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。
-------	---

わたしたちの生活は、多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っている。そのような中で自分も生きているのだ(生かされているのだ)ということに気付いたとき、人は感謝の念をもつことができる。このことは、かけがえのない存在として自己を認識し、他者をも認めることを可能にする。しかし、人間関係が常に利害と結びついたもの、打算的なものとしてとらえては、信頼関係を築くことはできずよりよい社会生活を送ることもできない。

また、今日のようにものが豊かにあふれた社会にあっては、誰の助けも借りることなく、あたかも自分一人で生きていくことが可能であるという錯覚を抱いてしまうことがある。このような社会に生きる子どもたちこそ、自分をとりまく環境を見つめ直し、人の思いやりを感じ取り、それに感謝して自分は何をすべきかを自覚し、実践しようとする態度を養いたい。

〈子どもの実態〉

学校生活の中では、最上級生として、学校を引っ張っていくような中心となる仕事を経験してきた。運動会では、5年生をリードしてそれぞれの役割をこなし成功させることができた。また、親子ふれあい遠足でも、異学年集団のリーダーとして、下学年の友達の世話をしながら、汗を流してオリエンテーリングを楽しんだ。仲間班でも「あいさつ班」「仲良し班」「ルール班」「きれい班」に別れ、北島北小学校を良くしようと活動に取り組んでいる。これらの活動を通して、互いに支え合うことや助け合うことの大切さを自覚してきた。そして、自分たちの生活を支えてくれている家族や周囲の大人へも視野を広げ、感謝の思いをもつ子どももいる。しかし、実際の生活場面では、身近な友達関係に縛られたり、はずかしいといった感情とか損得にとらわれたりして、感謝の気持ちをもっていても、それを素直に表すことができない子どもが多い。このように、これまで伝統を残してきた先輩に感謝し、下級生に伝統を残そうと一生懸命取り組んでいる子どもと、みんなのために何かを返そうという気持ちまで高まっていない子どもとの思いの差を感じる。

そこで、自分自身の生活を見つめ直し、いろいろな人が支え合い助け合って生きていることに感謝する心を高め、自分は何をすべきかを自覚し、行動する実践意欲を高めたい。

〈資料について〉 天国のたかし君 奇跡をありがとう！(フジテレビ アンビリーバボー 2004.6.18 放送)

難病を抱えながら、友達や家族の関わりを大切に育んでいく「岡田貴嗣」君のドキュメンタリーを資料としたものである。

5歳のとき、心筋症と診断され1996年6月に子どもには珍しいといわれる脳梗塞でたおれる。右半身に障害(右手右足が動かない)が残り、言葉も発することができなくなる。そんなとき、彼の同級生の新川小学校の子どもたちから、千羽鶴とみんなの声を録音したカセットテープが届く。そのテープを聞いた貴嗣君に「言葉」がもどり、彼は、友達に支えられていることに感謝する。貴嗣君は、「友達っていいよ。ほくも友達にやさしくしたい。そして、友達を大切にしたい。」と思いながら学校生活を送っていく。「みんなにお返しをしたい。」「誰かの役に立ちたい。」「みんなに喜んでもらいたい。」という貴嗣君の素直な心は、感謝できることのすばらしさを伝える。

感謝の思いから「誰かの役に立ちたい。」と行動する貴嗣君の思いと、その思いを支えた仲間や家族の気持ちに共感させ、今、自分にできることを考え、実践しようとする態度を養いたい。

(3) ねらい

自分たちの生活が、まわりの人々の愛情や支え合い助け合いの上に成り立っていることに感謝し、それにこたえようとする意欲を高める。

(4) 展開

□指導上の留意点 ●評価 ()評価方法

学習活動	主な発問と予想される子どもの意識	指導上の留意点と評価
1 ビデオを見た感想を思い出し、発表する。	<p>○ 「天国のたかし君 奇跡をありがとう！」のVTRを見ましたが、どんな言葉が心に残っていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「友達っていいよ。」 ・「人の役に立ちたいなあ。」 ・「みんなにやってもらってばかりだから。」 ・「誰かの役に立ちたい。」 ・「みんなに喜んでもらいたい。」 	<p>□貴嗣君の写真を用意し、ビデオの内容が想起しやすいようにする。</p> <p>□本資料には、生命尊重、友情・信頼、尊敬・感謝といった様々な価値を含んでいるが、本時のねらいとする価値である感謝へ方向付ける。</p>
<p>2 誰かの役に立ちたいと一生懸命取り組む貴嗣君の思いを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴嗣君が人形劇に取り組んでいたときの思いについて ・金沢の小学校にウサギの餌を送った貴嗣君の気持ちについて ・岩元綾さんと出会ったときの貴嗣君の気持ちについて 	<p>○ 人形劇に取り組む貴嗣君は、どんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができることすべてをしてみんなに喜んでもらいたい。 ・プレゼントを贈ったらきっと喜んでもらえる。 ・回りの友達が一生懸命貴嗣君のことを支えてくれているから、自分でできることを考えて疲れていてもプレゼントを作りたい。 <p>○ 金沢の小学校で、ウサギの餌に困っていることをお母さんから聞いたとき、貴嗣君はどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に何かできることはないのだろうか。 ・全然知らない学校のことで、何ができるんだろう。 ・今までいろんな友達が、何をするにも支えてくれたから、自分でできることを探したい。 <p>○ 貴嗣君は、どうして生き続けることが人の役に立つことだと考えることができたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾さんのコツコツと夢をあきらめないでという言葉が心に残ったから。 ・修学旅行とかで、自分はみんなに迷惑をかけていると思って悩んだけど、学校に行けば自分を待っている友達に感謝したから。 ・いろいろな人の支えがあることに気付いたから。 ・生きているということに感謝することができたから。 	<p>□貴嗣君の誰かの役に立ちたいという思いは、深い感謝の念からでていることに気付かせる。</p> <p>●友達の発表を聞き、自分の考えと比べながら意見が言えたか。(発言)</p> <p>□困っていることを知って、自分のできる限りのことを1人でしようと決意し実行した貴嗣君の気持ちを深く考えさせる。</p> <p>□自分をとりまく回りの人々に感謝することで、生きているだけで人の役に立っていることだという考えにいたったことをしっかり気付かせる。</p>
3 自分たちの生活について振り返り、これからの生活について考える。	<p>○ みなさんも、ありがたいなという気持ちになって、そのことにこたえて何かをしようと思ったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの6年生が、いい伝統を残してくれたと思って、仲間班活動に取り組んできた。 ・いろいろな活動をしてきたが、今まで、人のためにとあまり意識してやっていないことに気付いた。これからはしっかりと意識して取り組んでいきたい。 	<p>□学習したことから日常生活を振り返り、気付いたことやわかったことを発言できるように配慮する。</p> <p>●感謝の心をもって、いろいろな人と支え合いながら生活していくことの大切さに気づき、実践への意欲が高まったか。(ふりかえりカード)</p>
4 本時のまとめをする。	○ 教師の説話を聞く。	

(1) 主 題 名 郷土を思う心

(2) 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

4-(7)	郷土や我が国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。
-------	--

郷土や我が国はわたしたちが生活し、また、わたしたちの祖先が生活してきた場所である。そこでの精神的・物産的所産が文化である。その文化の中で、郷土や我が国において、長い間伝えられてきているものが伝統である。今ある文化や伝統は、先人の努力のたまものである。私たち自身もさらに努力を重ね、先人の文化や伝統を守り育てていくことが、郷土や国を真に愛することになる。

子どもは、新しい時代に向かって、多くの人々と支え合い、助け合って社会に貢献できるような人間になることが求められている。そのためには、子どもが生まれ育った郷土の自然や文化、歴史、先人の生き方に目を向け、先人の努力への尊敬と感謝を通して、生きることの意味を知り、誇りをもって努力しようとすることを基盤として、郷土を愛する心を育てたい。

〈子どもの実態〉

子どもたちは、これまで、教科の学習などを通して、郷土への知識が豊富になってきている。また、地域行事に参加したり、総合的な学習の時間「あこがれの人」では地域の話の聞いたり、日常の生活で近隣の自然や伝統行事に触れる数多くの経験をしたりして、北島町のよさを誇りに思う気持ちは育っている。

しかし、そのような郷土の文化や伝統が、自分たちとどのようにかかわっているのかについては、意識が及んでいない。そして、先人の努力や周囲の人々からの恩恵に気付かずに生活していることが少なくない。

この時期に、先人の努力から、自分もまたそれを継承し、発展させていく責務があることを自覚させ、実践意欲を高めていけるようにしたい。

〈資料について〉 米百俵（文溪堂）

本資料は、困窮した長岡藩に、親類付き合いをしている三根山から見舞いの米百俵が送られてくるが、その百俵のお米で、学校を建てようと虎三郎（大参事）が提案する話である。学校を建てようとする虎三郎（大参事）に、飢えて困っている藩士たちが刀をもって反対する。反対する藩士たちに、虎三郎（大参事）は、自分の命を賭けてもという郷土を思う強い気持ちをただす。人としての生き方を説く虎三郎（大参事）の深い考えに、三左衛門や藩士たちが心を打たれる。

藩士たちが、目の前の飢えて苦しむ人々を救うべきだと主張することは、至極当然のことである。しかし、今ある、藩の窮状の原因は人を育てていなかったからであり、真に藩を救い発展させていくには、学校を建てて人を育てるべきである。虎三郎（大参事）の学校を建てるという考えを自分の郷土意識と比べ、批判→賞賛の立場で話し合うことにより、真に郷土を大切にするという誇り高き思いに気付かせたい。この資料の中を通して貫かれる虎三郎（大参事）の郷土への愛着は、藩士たちにも共通してあるが、虎三郎には、学校を建てて人を育てるといふより高い目標があることをしっかり捉えさせたい。そして、先人の努力によって発展してきた郷土を大切に受け継ぎ、自分たちの手によってさらに良くしていこうという考えがもてるようにしたい。

(3) ね ら い

先人の努力を知り、自分の郷土に誇りを持ち、郷土を愛する心情を育てる。

(4) 展 開

□指導上の留意点 ●評価 ()評価方法

学 習 活 動	主な発問と予想される子どもの意識	指導上の留意点と評価		
1 自分たちの住んでいる地域のよさについて話し合う。	○ 北島町のことが好きですか。また、将来どんな町になると思いますか。 ・いろいろな施設もあるし、いいところだ。 ・住んでいる人が親切でいい。 ・もっと住みやすい町になっている。	□町の写真などを見せ、ねらいとする価値への方向付けをする。		
2 資料「米百俵」を読み、話し合う。	○ 資料から、どんな感想をもちましたか。	□心のバロメーターカードで、最初の自分の考え方、感じ方を明確にさせる。		
<p data-bbox="191 562 1005 618" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大参事の「米を売って、学校を建てよう。」という考えは、はたしてこれでいいのだろうか。</p> <p data-bbox="191 633 427 757">・大参事が米を売って学校を建てようとしたことをどう思うか。</p> <p data-bbox="191 909 427 999">・飢えて困っている人々がいることをどう思うか。</p> <p data-bbox="191 1059 427 1211">・大参事が「ことごとく人にある。」と言って、命を賭けても学校を建てようとすることをどう思うか。</p> <p data-bbox="191 1294 427 1417">・三左衛門は、大参事のどんな信念や生き方に気付いて恐れ入ったのか。</p>	<p data-bbox="446 633 1013 701">○ 大参事の学校を建てるという考えをどう思いますか。</p> <table border="0" data-bbox="446 701 1013 902"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;"> <p data-bbox="550 701 630 723">〈賞賛〉</p> <p data-bbox="470 723 710 745">【学校を建てたい虎三郎】</p> <p data-bbox="446 745 710 902">・百俵といっても分けたら1～2日分にしかない。 ・食べた後に何が残るんだろう。</p> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;"> <p data-bbox="837 701 917 723">〈批判〉</p> <p data-bbox="758 723 997 745">【飢えから逃れたい藩士】</p> <p data-bbox="734 745 997 902">・食えないから学校を、というのは理屈に合わない。 ・学校では、おなかは一杯にならない。</p> </td> </tr> </table> <p data-bbox="446 909 1013 1032">○ 飢えて困っていることから考えるとどうでしょう。 ・今はがまんすべきだ。 ・食べるより大事なことがある。</p> <p data-bbox="446 1059 1013 1294">○ 大参事は、本当の理由は人物養成にあるといっているが、どうでしょう。 ・藩を救うのは人間という考えは正しい。 ・時間はかかるけれど、人物を養成すれば百俵が百万俵になる。 ・郷土を救うのは人だ。</p> <p data-bbox="446 1301 1013 1570">○ つめよった三左衛門が、後ずさりしたことから考えるとどうでしょう。 ・長岡藩を立ち上げていくためには、みんなが力を合わせていかなければならないのだ。 ・長岡藩の将来について、ここまで考えておられたのか ・命を賭けてでも郷土を守ろうとしたすばらしい信念だ。 ・広い考えで、郷土の未来を見通すことができる。</p>	<p data-bbox="550 701 630 723">〈賞賛〉</p> <p data-bbox="470 723 710 745">【学校を建てたい虎三郎】</p> <p data-bbox="446 745 710 902">・百俵といっても分けたら1～2日分にしかない。 ・食べた後に何が残るんだろう。</p>	<p data-bbox="837 701 917 723">〈批判〉</p> <p data-bbox="758 723 997 745">【飢えから逃れたい藩士】</p> <p data-bbox="734 745 997 902">・食えないから学校を、というのは理屈に合わない。 ・学校では、おなかは一杯にならない。</p>	<p data-bbox="1037 633 1396 757">□自己の価値観をもとに発言できるように、長岡藩の置かれている状況、藩士たちの生活などの事実を押さえる。</p> <p data-bbox="1037 786 1396 875">●友達の発表を聞き、自分の考えと比べながら意見を言えたか。(発言)</p> <p data-bbox="1037 909 1396 965">□困っている人を助けるという批判の考えを強めておく。</p> <p data-bbox="1037 1059 1396 1149">□虎三郎の郷土をよくしようという熱い思いを確かめて、賞賛の意見を強める。</p> <p data-bbox="1037 1301 1396 1379">□虎三郎が郷土の発展を願うように、藩士たちも郷土を愛していることを押さえる。</p> <p data-bbox="1037 1391 1396 1469">□高い目標と努力によって郷土を守ろうとした大参事の強い思いに感得できるようにする。</p> <p data-bbox="1037 1480 1396 1648">●今の自分たちの生活があるのは、先人の郷土を思う気持ち、また、誇りをもって血のにじむ努力があったからこそであることに気付くことができたか。(発言)</p>
		<p data-bbox="550 701 630 723">〈賞賛〉</p> <p data-bbox="470 723 710 745">【学校を建てたい虎三郎】</p> <p data-bbox="446 745 710 902">・百俵といっても分けたら1～2日分にしかない。 ・食べた後に何が残るんだろう。</p>	<p data-bbox="837 701 917 723">〈批判〉</p> <p data-bbox="758 723 997 745">【飢えから逃れたい藩士】</p> <p data-bbox="734 745 997 902">・食えないから学校を、というのは理屈に合わない。 ・学校では、おなかは一杯にならない。</p>	
3 自分の生活を振り返る。	○ 北島町のことがすごく好きで、大切にしなければと考えたことはありませんか。 ・自分たちの住んでいる町を誇りに思い大切にしていきたい。 ・もっと住みやすい町にしていきたい。	□今までの生活を振り返りやすくするために、道徳ノートを活用させる。 □学習したことから日常生活を振り返り、気付いたことやわかったことを発言できるように配慮する。		
4 本時のまとめをする。	○ 郷土を大切にしている人に関する教師の話聞く。	●実践への意欲付けができたか。		

